



ごみゼロ通信

2.15

令和4年
(2022年)

■発行/八王子市

〒192-8501 元本郷町三丁目24番1号

■編集/資源循環部ごみ減量対策課

☎620・7256(直通) ☎626・4506

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/gomi/index.html>

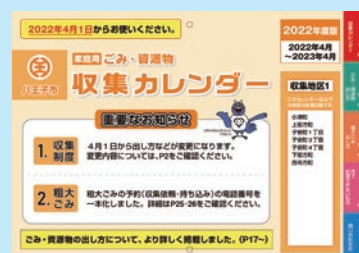


▲4月から「木の枝」を資源物として収集
※撮影時のみマスクを外していただいています。

2022年4月から ごみ・資源物の出し方が変わります

近年のごみ・資源物量の変化などに対応するため、4月からごみ・資源物の収集方法を一部変更します。

また、10月からの館清掃工場の稼働や北野清掃工場の停止に伴い収集体制を再構築することから、収集日や収集時間なども変わりますので、ご理解とご協力をお願いします。



▲3月上旬に配布する収集カレンダーでもご確認ください

2022年4月からごみ・資源物の出し方を一部変更します

詳しくはこちら



この特集号では4月からのごみ・資源物の出し方について、変更点などをお伝えします。

変更点①

「木の枝」を収集開始



これまで可燃ごみとして収集していた「木の枝」を、資源物として収集します。ご家庭で剪定された木の枝が対象となります。

●出し方

- 各ご家庭で剪定した「木の枝」は、長さ100cm以下で直径30cm程度にビニールひもなどで束ねてください。
- 枝の太さは5cm以下のものが対象です。
- 収集は2週に1回です。1回の収集につき10束まで収集します。
- ※袋で出されたものは収集できません。



▲収集された木の枝はチップ加工され、発電燃料などに活用されます

※毒性のあるもの(キョウチクトウなど)、繊維質のもの(竹など)、落ち葉・草などは、資源化できないため、これまでどおり「可燃ごみ」の日に出してください。2束・2袋まで無料で収集します。

変更点②

小型充電式電池(リチウムイオン電池など)が取り外せない製品を有害ごみで収集



近年、様々な製品で使われている小型充電式電池が原因となり、収集車や処理施設で火災事故が発生しています。そのため、小型充電式電池を取り外せない製品を「有害ごみ」で収集します。

●出し方

- 小型充電式電池が取り外せる製品は、取り外してから金属端子部分をビニールテープなどで絶縁して、透明・半透明の袋に入れて出してください。製品の本体は不燃ごみで出してください。
- 小型充電式電池が取り外せない場合は、製品の本体ごと透明・半透明の袋に入れて出してください。
- ※40Lの袋に入らないもの、または5kg以上のものは「粗大ごみ」として処理してください。



▲外した電池は有害ごみへ。本体は不燃ごみへ



▲火災事故が起きると収集作業に影響が出ます

▶外した充電式電池は協力店に設置されているリサイクルBOXも引き続きご利用ください



変更点③

「不燃ごみ」と「新聞」の収集頻度を変更

「不燃ごみ」と「新聞」の収集量が大幅に減少していることから(下段「2.不燃ごみ・新聞の収集量の変化」参照)、収集頻度を4週に1回に変更します。ご不便をおかけしますが、収集日までご自宅での保管にご協力をお願いします。

また、不燃ごみの中には、まだ使用できるものがたくさんありますのでリユースショップを活用し、新聞は資源集団回収や販売店の回収もご活用ください。

変更点④

収集日・収集時間の変更

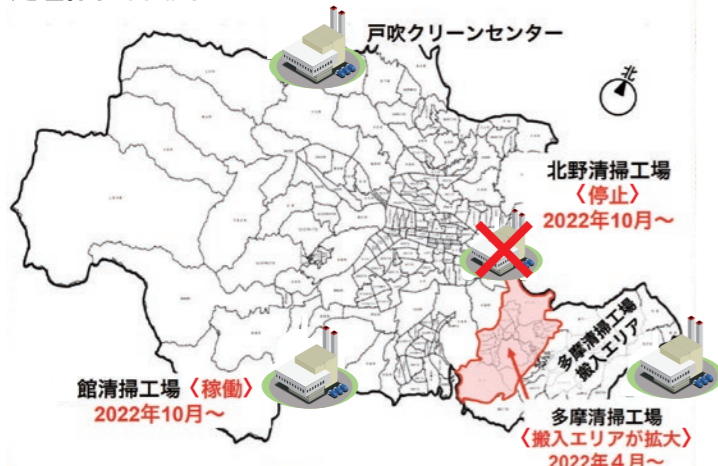
各品目の収集日や収集時間の変更となるため、3月上旬に配布するごみ・資源物収集カレンダーで収集日を確認し、当日の朝8時30分までに出してください。



▲収集日はカレンダーで確認を

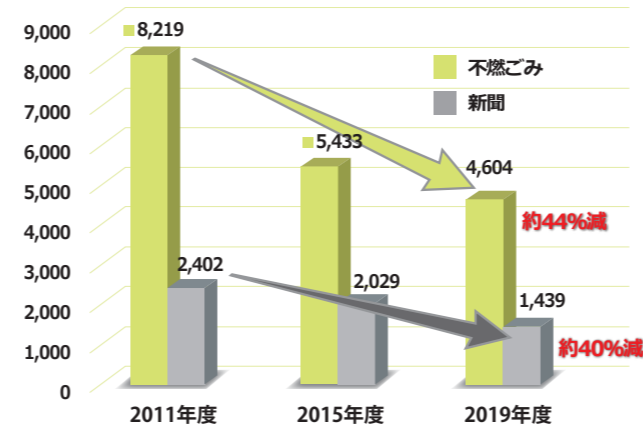
◆2022年4月からのごみ・資源物の出し方変更の背景

1. 処理体制の変更



2022年4月以降、多摩清掃工場の搬入エリアの見直し、北野清掃工場の停止、館清掃工場の稼働など、ごみの処理体制が大きく変わります。

2. 不燃ごみ・新聞の収集量の変化(単位:トン)



▲2011年度と比較すると不燃ごみ・新聞は約40%の減量となっています

よくある質問

- Q 木の枝を出す際、くっついてる葉は全部落とす必要はありますか?
A 枝についている葉はそのまま「木の枝」として出してください。
- Q 落ち葉や竹などはどう捨てればいいですか?
A 資源化できないためこれまでどおり、可燃ごみの日に出してください。2束・2袋まで無料で収集します。
- Q 小型充電式電池が取り外せるかどうかはどのようにすればわかりますか?
A 各製品の取扱説明書で確認するか、各メーカーにお問い合わせください。
- Q 変更による効果は?
A 今回の変更では、リサイクル率の向上や火災事故の防止、CO₂・事業コストの削減といった効果が期待されます。

4月から粗大ごみの申し込み方法が変わります

4月1日から、粗大ごみの収集と持ち込みのお申し込みは、下表のとおり一括してコールセンターで受け付けます。また、持ち込みについては新たにインターネットでの受付を開始します。

詳しくは3月上旬に配布するごみ・資源物収集カレンダー、または下の二次元コードからご覧ください。

	収集	持ち込み		
		戸吹清掃工場	多摩清掃工場	館清掃工場 (持ち込みは10月から)
申し込み	ごみ総合相談センター（粗大ごみコールセンター） 0570・550・530(ナビダイヤルをご利用できない場合は☎042・696・5377)			

3月31日(木)はシステムメンテナンスのため、粗大ごみの収集・戸吹清掃工場への持ち込みの受付ができません。ご理解・ご協力をお願いいたします。

問い合わせ ごみ総合相談センター
 0570・550・530 ナビダイヤルをご利用できない場合は☎042・696・5377
 042・692・0900



なくそう！海洋プラスチックごみ

世界中の海でプラスチックごみが問題になっています。まちでポイ捨てされたレジ袋などのプラスチック類は、風に飛ばされて川に入り、やがて海に流れ出ます。八王子市に住んでいる私たちも、海洋プラスチックごみと無関係ではありません。これ以上海洋プラスチックごみを増やさないために、ポイ捨てをしない、清掃活動に参加するなど、できることから始めてみましょう。



びんや缶は袋に入れないでください

びんや缶が入っていたビニール袋などは資源化不適物として、年間約60tも清掃工場では焼却処理されています。びんや缶を出す際は、ビニール袋ではなく、カゴなどの容器に直接入れて出すように、ご協力をお願いします。



「3キリ運動」の実践で生ごみを減らしましょう！

家庭から出る可燃ごみのおよそ半分が生ごみです。生ごみはひと工夫で簡単に減量することができます。

リメイクのレシピはインターネットにたくさん載ってるよ！



使いキリ

使いキリのポイント

- ①定期的に冷蔵庫のチェック
消費期限切れになる前に使い切る。
- ②買い物前に在庫のチェック
必要な分だけ購入する。
- ③リメイクして使い切る
余ったおかずはリメイクする。
(例：鶏唐揚げ⇒唐揚げ親子丼)

残さず食べよう！



食べキリ

食べキリのポイント

- ①自宅では
食べられる量だけ作り、残さず食べる。残ったら冷蔵・冷凍保存する。
- ②外食の時は
食べられる分だけ注文し、残さず食べる。

水分を多く含んでいると清掃工場でごみを燃やす効率が悪くなる原因となります。

水キリネットとCDを使うとたくさん水がきれいよ！



水キリ

水キリのポイント

- ①濡らさない
野菜のヘタなど使えない部分は洗う前に切り落とす。
- ②最後のひとしぼり
生ごみを出す前に「ぎゅっ」とひとしぼりをする。
- ③乾燥させる
お茶がらや果物の皮などは、一晩おいて乾燥させる。